

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公開番号】特開2008-310836(P2008-310836A)

【公開日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-254710(P2008-254710)

【国際特許分類】

G 06 F 3/02 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/02 3 6 0 Z

G 06 F 3/02 3 1 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月8日(2009.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示の書き換え速度が異なる複数の駆動モードで駆動される表示手段と、

操作に応じて変位する操作子と、

前記操作子の変位に基づく変位量に応じた制御信号を前記表示手段に供給する信号供給手段と、

前記表示手段の駆動モードに応じて、前記操作子に与える負荷を制御する負荷制御手段と、

前記負荷制御手段により制御された負荷を前記操作子に与える負荷付与手段と

を有する情報処理装置。

【請求項2】

前記複数の駆動モードが、第1の駆動モードと、前記第1の駆動モードよりも書き換え速度が速い第2の駆動モードとを有し、

前記負荷制御手段は、前記表示手段の駆動モードが前記第2の駆動モードである場合の前記負荷が、前記表示手段の駆動モードが前記第1の駆動モードである場合の前記負荷よりも大きくなるように前記負荷を制御する

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記表示手段が、コレステリック液晶を用いた表示体を含み、

前記複数の動作モードが、DDS (Dynamic Drive Scheme) 方式による駆動モードおよび前記DDS方式以外の方式による駆動モードを含む

ことを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

表示の書き換え速度が異なる複数の駆動モードで駆動される表示手段と、操作に応じて変位する操作子と、前記操作子の変位に基づく変位量に応じた制御信号を前記表示手段に供給する信号供給手段とを有する情報処理装置の制御方法であって、

前記表示手段の駆動モードに応じて、前記操作子に与える負荷を制御するステップと、

前記制御された負荷を前記操作子に与えるステップと

を有する制御方法。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0043**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0043】**

ステップS130において、CPU44は、負荷制御部33を高負荷状態にする信号を、I/Oコントローラ48を介して磁力制御回路33cへ供給する。この信号の供給を受けた磁力制御回路33cは、図7の実線Bに示す負荷を回転つまみ31に付与するため必要な電力を、電磁石33bへ供給する。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0061**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0061】**

図に示す負荷制御部33は、歯車33e、剛球33f、スプリング33g及びアクチュエータ33hを有する。歯車33eは、中心に貫通孔を有する。貫通孔には回転軸34が挿入され、歯車33eは回転軸34に対して固定されている。歯車33eと剛球33fとは、スプリング33gを介して連結されている。アクチュエータ33hは、歯車33eに近づく方角とその逆の方角の間の移動により、歯車33eの側面に剛球33fを押し当てる付勢力を調整する。